



### 学生が佐渡で職場体験

9月6日～10日、大学生や大学院生などが市内の企業・団体で就業体験する「佐渡島インターンシップ事業」が行われました。今回が初めての実施で、県内外から7名（うち佐渡出身者2名）が参加し、それぞれの受入れ先で業務を体験しました。

市では市内の企業が求める人材育成を図るため、インターンシップに対する支援を推進し、企業の活性化に取り組んでいます。インターン生からは「良い経験ができた」「働くイメージが固まった」「佐渡での就職を前向きに考えたい」といった感想があげられました。来年度は、さらに内容を充実させ、本格的に実施したいと考えています。



閉会式の様子

### 「もしも」に備えて 佐渡市総合防災訓練

佐渡市総合防災訓練が8月29日、おんでこドーム（両津湊地内）で実施されました。訓練は、佐渡北方沖を震源とする強い地震が発生し、家屋の倒壊や火災の発生、ライフラインの切断のほか、多数の死傷者がでているという想定で行われました。負傷者の応急処置、炊き出しなどの訓練に、佐渡市のほか航空自衛隊佐渡分屯基地や警察署をはじめ、災害時には連携が必要となる各関係機関などから約520名が参加。体験コーナーでは、応急手当講習や消火器の取扱い訓練などもあり、防災意識を高める1日となりました。



体験コーナーでは、応急手当講習や消火器の取扱い訓練などもあり、防災意識を高める1日となりました。

### 入間市とスポーツ交流

9月11日、姉妹都市の入間市（埼玉県）から金子体育協会が佐渡市を訪れ、佐渡バレーボール協会と家庭婦人9人制バレーボールの交流試合を行いました。試合は両津総合体育館で行われ、白熱したプレーが繰り広げられました。試合後には、懇親会や記念品の交換などで親睦を深めました。



### 世阿弥と佐渡の能楽を知る

シンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」（新潟大学人文学部・佐渡市教育委員会連携協定調印記念事業）が、8月28日、金井コミュニティセンターで開催されました。専門家による基調講演に、参加者は世阿弥が流された背景や、その後、近世以降隆盛する佐渡の能楽について理解を深めました。また、ドキュメンタリー映画『朱鷺島－創作能「トキ」の誕生』上映や、佐渡中等教育学校2年生による素謡、真野中学校狂言クラブによる鷲流狂言の発表もありました。



真野中学校狂言クラブによる発表

### 学校給食に佐渡産野菜を

子どもたちに安全で安心な佐渡産の野菜を食べてもらいたいと、佐渡市や県、JA、生産者が一体となって取り組む「学校給食野菜生産組合」が設立され、9月10日に総会が行われました。来年4月から学校給食への安定した野菜の供給ができるよう、野菜の生産拡大や流通方法、規格などについて活発な意見が交わされました。佐渡産野菜の使用率をアップし、特に旬の時期には100%供給できる体制づくりに取り組んでいます。



佐渡産野菜の使用率をアップし、特に旬の時期には100%供給できる体制づくりに取り組んでいます。

